新変額個人年金保険（無配当）＜特別勘定グループ（PD型）＞

自分でつくる、
国際分散投資。

新生パワーダイレクト年金

新変額個人年金保険（無配当）＜特別勘定グループ（PD型）＞

特別勘定の月次運用実績レポート

2023 年 4 月度

＜目次＞

1. 特別勘定の種類 1 ページ
2. 運用環境の主な状況 2 ページ
3. 特別勘定の運用実績・状況 3 ページ
4. ［参考情報］投資信託の運用実績・状況 4-12 ページ
5. 当保険商品のリスク・諸費用・ご留意いただきたい事項 13 ページ

［募集代理店］

SBI 新生銀行

［引受保険会社］

AXA アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
月～金 9:00～18:00 土 9:00～17:00
（日・祝日および12月31日～1月3日を除く）
https://www.axa.co.jp/

当保険商品は、現在、新規のお申し込みをお受けしておりません。
当資料は、特別勘定の運用実績等をご契約者さまへお知らせするための資料であり、生命保険契約の募集および投資信託の勧誘を目的としたものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご了承ください。
アクサ生命は、「運用環境の主な状況」などを信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。また、「運用実績・状況」に係る内容はいかなるものも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定の種類

特別勘定 ［ファンド］名	運用方針	主な運用対象の投資信託	投資信託の委託会社
日本 成長株式型 （PD）	国内の成長企業の株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより、東証株価指数を中長期的に上回る投資成果をあげることを目指します。	フィデリティ・ 日本成長株・ ファンドVA3 （適格機関投資家専用）	フィデリティ投信 株式会社
日本店頭・ 小型株式型 （PD）	中小型上場銘柄を中心とする成長性溢れるわが国の株式等に投資し、投資信託財産の成長を目標に積極運用を行います。	インベスコ店頭・ 成長株オープンVA1 （適格機関投資家私募投信）	インベスコ・ アセット・マネジメント 株式会社
日本株式 INDEX型 （PD）	国内の株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより、日経平均株価に連動した投資成果をあげることを目指します。	インデックスファンド 225VA （適格機関投資家向け）	日興 アセットマネジメント 株式会社
海外株式 INDEX型 （PD）	日本を除く世界各国の株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより、MSCI KOKUSAI インデックスに連動した投資成果をあげることを目指します。	インベスコ MSCIコクサイ・ インデックス・ファンドⅠ （適格機関投資家専用）	インベスコ・ アセット・マネジメント 株式会社
エマージング 株式型 （PD）	新興成長国企業の株式等を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより、積極的に高い投資成果をあげることを目指します。	HSBC チャイナファンドVA （適格機関投資家専用）	HSBC アセットマネジメント 株式会社
日本債券型 （PD）	国内の物価連動債を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより、中長期的に安定した投資成果をあげることを目指します。	MHAM物価連動 国債ファンドVA [適格機関投資家専用]	アセットマネジメント One株式会社
世界債券型 （PD）	日本を含む世界各国の公社債を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより、FTSE世界国債インデックス（ 含む日本／ 円ベース）を中長期的に上回る投資成果をあげることを目指します。	グローバル・ソブリン・ オープンVA （適格機関投資家専用）	三菱UFJ国際投信 株式会社
海外高利回り 債券型 （PD）	米国ドル建ての高利回り事業債（ ハイ・イールド・ボンド）を主要投資対象とする投資信託に主に投資することにより、積極的に高い投資成果をあげることを目指します。	高利回り社債 オープンVA （適格機関投資家専用）	野村 アセットマネジメント 株式会社
マネー プール型 （PD）	他の特別勘定で運用している資金の一時退避を目的とし、国内の公社債および短期金融商品等を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより、安定した投資成果をあげることを目指します。	フィデリティ・マネー・ プールVA （適格機関投資家専用）	フィデリティ投信 株式会社

※特別勘定の種類、運用方針および委託会社等の運用協力会社は、法令等の改正または効率的な資産運用が困難になる等の理由により、変更されることがあります。なお、委託会社等の運用協力会社については、運用成績の悪化等、当社がお客さまの資産運用にふさわしくないと判断した場合、変更させていただくことがあります。
※特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。
※新変額個人年金には複数の特別勘定グループが設定されており、「新生パワーダイレクト年金」には「特別勘定グループ（PD型）」が設定されています。保険料繰り入れおよび積立金の移転は「特別勘定グループ（PD型）」に属する特別勘定に限定されます。「特別勘定グループ（PD型）」以外の特別勘定グループに属する特別勘定への保険料の繰り入れおよび積立金の移転はできません。
※「マネープール型（PD）」は株価、債券価格、為替等の変動の影響を受ける可能性が低いことを想定した特別勘定です。ただし、低金利環境下（マイナス金利を含む）では、「マネープール型（PD）」の積立金の増加が期待できないだけでなく、諸費用の控除等により積立金が減少することもありますのでご注意ください。

運用環境の主な状況

（2023年4月末現在）

■ 日本株式市場

日本株式市場は上昇し、TOPIX（東証株価指数）は前月末比+2.69%の2,057.48ポイントで終えました。米国の著名投資家であるウォーレン・バフェット氏が日本企業に追加投資を表明したこと、中国の景気回復期待、日銀が現状の金融政策を維持したこと等を受けて上昇しました。
日本小型株式市場は下落しました。

■ 外国株式市場

米国株式市場は上昇し、NYダウ工業株30種は前月末比+2.48%の34,098.16ドルで終えました。物価上昇の鈍化が明確になるにつれ、政策金利引き締めの打ち止め感が台頭したこと等から、米国株式市場は上昇しました。

欧州株式市場は上昇し、独DAX指数は前月末比+1.88%、仏CAC40指数は前月末比+2.31%で終えました。欧州の経済指標に好転が見られたこと等から投資家心理が改善し、欧州株式市場は上昇しました。

新興国株式市場は下落しました。先進国リート市場は上昇しました。

■ 日本債券市場

10年国債の金利は上昇（価格は下落）し、月末には0.394%となりました（前月末0.351%）。日銀による金融政策の修正観測により金利は上昇しましたが、4月末の日銀の政策決定会合においては、早期の政策修正が見送られたことから、金利は低下し上昇幅を縮小させました。

■ 外国債券市場

米国債券市場では10年国債の金利は低下（価格は上昇）し、月末には3.422%となりました（前月末3.468%）。景気の減速やFRB（連邦準備制度理事会）による利上げ打ち止め観測等から、金利は低下しました。
米国ハイ・イールド債券市場は価格が上昇しました。

欧州債券市場においては、独10年国債の金利は上昇（価格は下落）し、月末には、2.313%となりました（前月末2.292%）。欧州の経済指標の改善を受けて、ECB（欧州中央銀行）が利上げを継続するとの観測等から金利は上昇しました。

■ 外国為替市場

米ドル/円相場は前月末比+0.60円の134.13円となりました。日銀が現状の大規模金融緩和政策を維持したこと等から、米ドルは対円で上昇する展開となりました。

ユーロ/円相場は前月末比+2.32円の148.04円となりました。ユーロ/円市場においても、日銀が現状の大規模金融緩和政策を維持したこと等から、ユーロは対円で上昇する展開となりました。

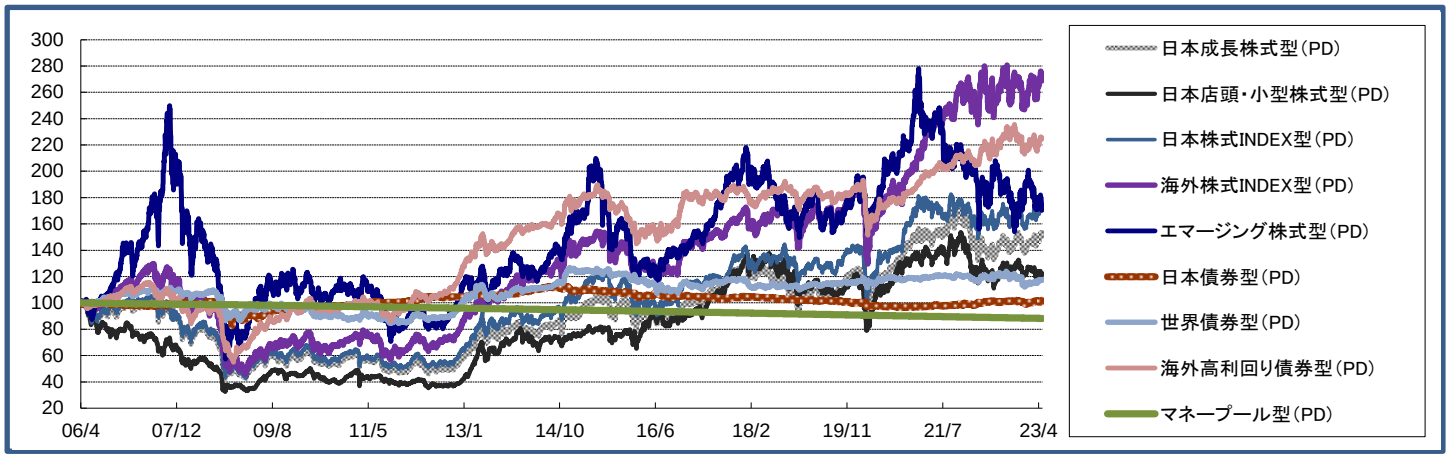
※上記の内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定の運用実績・状況

(2023年4月末現在)

■ 特別勘定のユニット・プライスの推移

※特別勘定のユニット・プライスは特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定名	ユニット・プライス 2023年4月末	騰落率(%)					
		1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
日本成長株式型(PD)	153.67	2.34	5.12	5.08	8.83	40.56	53.67
日本店頭・小型株式型(PD)	122.60	△ 0.26	△ 3.61	△ 4.61	△ 2.36	21.85	22.60
日本株式INDEX型(PD)	175.03	2.64	5.93	4.82	7.95	42.89	75.03
海外株式INDEX型(PD)	273.16	2.47	5.14	△ 0.80	4.12	68.45	173.16
エマージング株式型(PD)	171.73	△ 4.47	△ 11.87	10.34	△ 3.98	△ 0.84	71.73
日本債券型(PD)	101.85	0.70	1.67	0.30	0.99	4.27	1.85
世界債券型(PD)	117.59	0.50	2.84	△ 3.91	△ 2.02	2.35	17.59
海外高利回り債券型(PD)	225.37	1.85	3.16	△ 4.40	2.40	38.61	125.37
マネープール型(PD)	88.22	△ 0.07	△ 0.20	△ 0.42	△ 0.85	△ 2.53	△ 11.78

※ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で、各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。
※騰落率は、当月末における、上記各期間のユニット・プライスの変動率を表しています。
※各特別勘定のユニット・プライスは、アクサ生命ホームページにて各営業日にご確認いただけます。

■ 特別勘定資産の内訳　千円単位

	日本成長株式型(PD)		日本店頭・小型株式型(PD)		日本株式INDEX型(PD)		海外株式INDEX型(PD)		エマージング株式型(PD)	
	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
現預金・その他	2,175	4.5	1,045	4.8	1,978	4.6	5,046	4.3	2,163	4.8
その他有価証券	46,369	95.5	20,678	95.2	41,410	95.4	111,654	95.7	43,212	95.2
合計	48,544	100.0	21,723	100.0	43,389	100.0	116,700	100.0	45,376	100.0

	日本債券型(PD)		世界債券型(PD)		海外高利回り債券型(PD)		マネープール型(PD)	
	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
現預金・その他	1,573	4.7	2,877	4.8	2,190	4.2	3,735	9.9
その他有価証券	31,981	95.3	57,196	95.2	50,069	95.8	33,852	90.1
合計	33,554	100.0	60,074	100.0	52,260	100.0	37,587	100.0

※各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
※金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

日本成長株式型（ＰＤ）

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　（2023年4月末現在）

フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3（適格機関投資家専用）

フィデリティ投信株式会社

■ 投資信託の特徴

1. わが国の取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている株式を主要な投資対象とします。 2. 個別企業分析により、成長企業（市場平均等に比較し成長力があり、その持続が長期的に可能と判断される企業）を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行ないます。 3. 個別企業分析にあたっては、日本および世界の主要拠点のアナリストによる企業調査結果を活かし、ポートフォリオ・マネージャーによる「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した運用を行ないます。 4. ポートフォリオ構築にあたっては、分散投資を基本としリスク分散を図ります。 5. 株式への投資は、原則として、高位を維持し、信託財産の総額の65%超を基本とします。 6.「ファミリーファンド方式」により運用を行ないます。 7. 日本の株式の代表的な株価指数であるTOPIX（配当込）をベンチマーク（運用目標）とし、長期的にベンチマークを上回る運用成果をあげることを目標とします。（ベンチマークとの連動を目指すものではありません。）

■ 純資産総額

1,208　億円

■ 設定日

2001年11月29日

■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	2.55	5.71	5.99	10.59	47.88	225.51
BM	2.70	5.43	8.17	11.34	50.96	192.89
差異	△ 0.15	0.28	△ 2.18	△ 0.75	△ 3.08	32.62

■ 基準価額の推移

■ ベンチマーク

TOPIX（配当込）

＊TOPIX（配当込）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されており、配当を考慮したものです。
＊東証株価指数（TOPIX）（以下「TOPIX」という。）の指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

※基準価額の騰落率は、収益分配金を再投資することにより算出された騰落率です。
※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。
　ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。ベンチマークはファンド設定日前日を10,000円として計算しています。
※基準価額は運用管理費用控除後のものです。
※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

（2023年03月31日現在）

■ 株式組入上位10銘柄　組入銘柄数 167

	銘柄	業種	%
1	ｷｰｴﾝｽ	電気機器	4.5
2	ｿﾆｰｸﾞﾙｰﾌﾟ	電気機器	3.8
3	ﾐｽﾐｸﾞﾙｰﾌﾟ本社	卸売業	2.9
4	東京ｴﾚｸﾄﾛﾝ	電気機器	2.6
5	伊藤忠商事	卸売業	2.5
6	信越化学工業	化学	2.5
7	ｵﾘｴﾝﾀﾙﾗﾝﾄﾞ	サービス業	2.4
8	三井ﾊｲﾃｯｸ	電気機器	2.3
9	村田製作所	電気機器	2.3
10	日立製作所	電気機器	2.2

※業種は東証33業種に準じて表示しています。
※未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。
※「株式組入上位10銘柄」、「組入上位5業種」、「市場別組入状況」、「資産別組入状況」はマザーファンド・ベース、対純資産総額比率の数値です。

■ 組入上位5業種

	業種	%
1	電気機器	24.0
2	化学	8.6
3	情報・通信業	8.1
4	卸売業	6.5
5	機械	5.4

■ 資産別組入状況(%)

株式	97.5
新株予約権証券（ﾜﾗﾝﾄ）	-
投資信託・投資証券	-
現金・その他	2.5

■ 市場別組入状況

市場	%
東証プライム	95.2
東証スタンダード	1.7
東証グロース	0.6
その他市場	-

当資料は、情報提供を目的としたものであり、ファンドの推奨（有価証券の勧誘）を目的としたものではありません。本資料に記載の内容は将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、厳密な意味での正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。上記情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

日本店頭・小型株式型(ＰＤ)

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績･状況］　(2023年4月末現在)

インベスコ 店頭･成長株オープンVA1(適格機関投資家私募投信)

インベスコ･アセット･マネジメント株式会社

■ 投資信託の特徴

投資信託財産の成長を目標として、積極運用を行います。
主として、インベスコ　店頭･成長株　マザーファンド受益証券への投資を通じて、中小型株式を中心とする成長性溢れるわが国の株式等に投資します。

■ 純資産総額

23 億円

■ 設定日

2003年8月29日

■ 基準価額･ベンチマーク(BM)　騰落率　表示桁数未満四捨五入

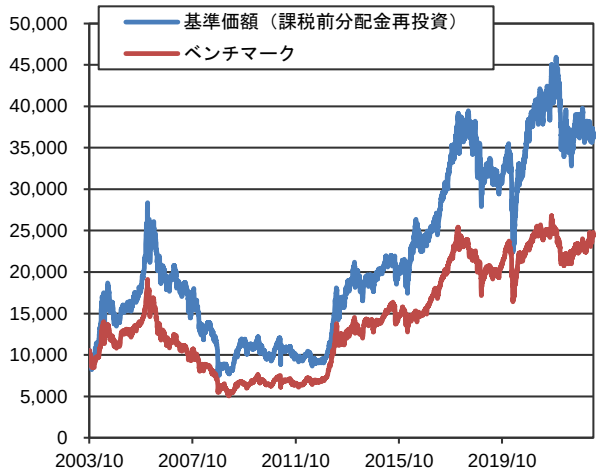
%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△ 0.16	△ 3.49	△ 4.24	△ 1.34	27.13	268.52
BM	2.61	5.22	7.52	14.37	27.35	148.27
差異	△ 2.77	△ 8.71	△ 11.76	△ 15.72	△ 0.22	120.25

■ ベンチマーク

設定がありませんが、参考指数として設定日から2022年4月3日まではJASDAQを使用していましたが、東証の市場区分の変更に伴い、同指数が廃止されたことを受け、2022年4月4日以降はRussell/Nomura Small Capを参考指数として採用し、本資料の参考指数は両指数を指数化し、結合したものを掲載しています。

※ 基準価額の騰落率は、課税前分配金を再投資したと仮定した数値を用いています。
※「設定来」の値は、当ファンドがマザーファンドの買付を開始した2003年10月15日以降のリターン値です。

■ 基準価額の推移(課税前分配金再投資ベース)



※基準価額は信託報酬(純資産総額に対して年率0.77%(税抜0.7%)を乗じたもの)控除後のものです。
※ベンチマークは、当ファンドがマザーファンドの買付を開始した2003年10月15日の値を9,990として指数化しています。

■ 組入上位10銘柄　組入銘柄数　59

	銘柄名	業種	%
1	カバー	情報・通信業	4.19
2	ＦＰパートナー	保険業	3.53
3	五洋建設	建設業	3.31
4	太陽ホールディングス	化学	3.28
5	ＢＩＰＲＯＧＹ	情報・通信業	3.21
6	東京応化工業	化学	3.20
7	大栄環境	サービス業	3.16
8	ビジョン	情報・通信業	2.83
9	ＭＡＲＵＷＡ	ガラス・土石製品	2.82
10	ファーマフーズ	食料品	2.81

■ 組入上位5業種

	業種名	%
1	情報・通信業	21.73
2	サービス業	20.02
3	機械	9.07
4	化学	8.07
5	建設業	6.47

■ 市場別組入比率

市場	%
プライム	76.96
スタンダード	4.43
グロース	13.73
その他市場	-
現金･その他	4.88

■ 資産配分

	%
株式	95.12
その他の有価証券	-
現預金等	4.88
合計	100.00

※業種は東証33分類に基づいています。
※「組入上位10銘柄」、「組入上位5業種」、「市場別組入比率」、「資産配分」は対純資産比(マザーファンド･ベース)の値を表示しています。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。

日本株式ＩＮＤＥＸ型(ＰＤ)

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　（2023年4月末現在）

インデックスファンド225VA（適格機関投資家向け）
日興アセットマネジメント株式会社

■ 投資信託の特徴

1. 日本株式市場全体の動きをとらえ、日経平均株価（225種・東証）の動きに連動する投資成果をめざします。
2. モダンポートフォリオ理論に基づく「バーラ日本株式モデル」に従って、わが国の金融商品取引所に上場されている株式※の中から、原則として200銘柄以上に投資します。
   ※東京証券取引所プライム市場に上場されている株式となります。

■ 純資産総額

17 億円

■ 設定日

2002年9月12日

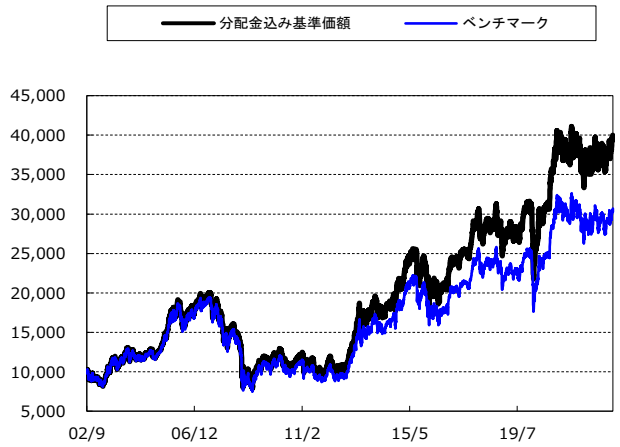
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	2.88	6.55	5.63	9.51	49.45	299.86
BM	2.91	5.60	4.60	7.48	42.90	206.98
差異	△ 0.02	0.95	1.03	2.02	6.55	92.88

■ ベンチマーク

日経平均株価（225種・東証）

■ 基準価額の推移



※ファンド（分配金再投資）の収益率は、当ファンド決算時に分配金があった場合の分配金を再購入（再投資）し、算出しています。

■ 株式組入上位10銘柄　組入銘柄数 225

	銘柄	%
1	ファーストリテイリング	11.11
2	東京エレクトロン	5.38
3	ソフトバンクグループ	3.54
4	ＫＤＤＩ	2.95
5	ダイキン工業	2.85
6	ファナック	2.65
7	アドバンテスト	2.44
8	信越化学工業	2.23
9	テルモ	1.88
10	京セラ	1.65

※ファンドのウェイトはマザーファンドの対純資産総額比です。

■ 株式組入上位10業種

	業種	%
1	電気機器	22.92
2	小売業	12.76
3	情報・通信業	10.25
4	医薬品	7.13
5	化学	6.92
6	機械	5.58
7	サービス業	4.76
8	輸送用機器	4.33
9	精密機器	4.04
10	食料品	3.64

※ファンドのウェイトはマザーファンドの対純資産総額比です。

■ 資産構成(%)

株式		98.52
	プライム	98.52
	スタンダード	0.00
	グロース	0.00
	その他	0.00
株式先物		1.14
株式実質		99.67
現金その他		1.48

※当ファンドの実質の組入比率です。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。

海外株式ＩＮＤＥＸ型(ＰＤ)

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　（2023年4月末現在）

インベスコ MSCIコクサイ・インデックス・ファンドⅠ（適格機関投資家専用）
インベスコ・アセット・マネジメント株式会社

■ 投資信託の特徴

投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、積極的な運用を行うことを基本とします。
主として、MSCIコクサイ・インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を除く世界各国の株式に投資します。
グローバルな収益機会を最大限に追求するため、MSCIコクサイ・インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果を目指します。
実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

■ 純資産総額

8 億円

■ 設定日

2002年6月26日

■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

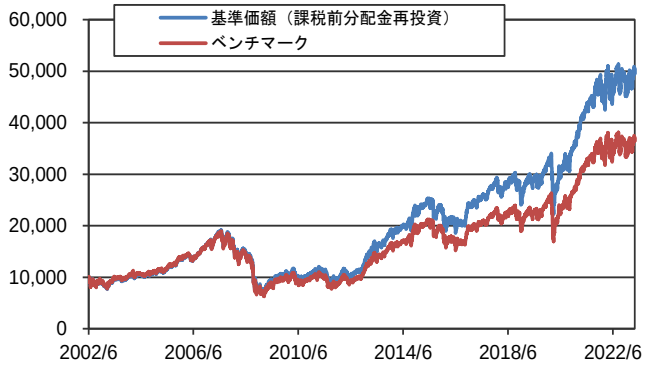
%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	2.70	5.72	△ 0.24	5.66	79.42	403.48
BM	2.57	5.23	△ 0.88	4.21	73.25	-
差異	0.13	0.49	0.64	1.45	6.18	-

■ ベンチマーク

MSCI コクサイ・インデックス（円換算ベース）

※基準価額の騰落率は、課税前分配金を再投資したと仮定した数値を用いています。
※ベンチマークの累積リターンは、ファンドの基準価額算出方法と同一基準（基準日前日の各外貨建資産を基準日の各通貨毎のTTMレートで評価する方法）で月次ベースでのみ算出しています。尚、2009年5月1日より日次ベースでの算出に変更しています。

■ 基準価額の推移(課税前分配金再投資ベース)



※基準価額は信託報酬(純資産総額に対して年率0.44%（税抜0.4%)を乗じたもの)控除後のものです。
※ベンチマークは、基準日前営業日のMSCIコクサイ・インデックス(米ドルベース)に、基準日当日の米ドル為替レート(対顧客電信売買相場の仲値)を乗じ、設定日を10,000として指数化しています。

■ 組入上位10銘柄

	銘柄	国名	業種	%
1	APPLE	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	5.13
2	MICROSOFT	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.13
3	AMAZON.COM	アメリカ	小売	1.93
4	NVIDIA	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.28
5	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	1.23
6	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽	1.14
7	META PLATFORMS-A	アメリカ	メディア・娯楽	1.03
8	EXXON MOBIL	アメリカ	エネルギー	0.92
9	UNITEDHEALTH GROUP	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	0.88
10	TESLA	アメリカ	自動車・自動車部品	0.82

※国名は、発行体の国籍（所在国）などで区分しています。
※業種はベンチマークで採用している分類に準じています。
※「組入上位10銘柄」「組入株式上位5ヵ国」「組入株式上位5業種」「資産配分」は対純資産比(マザーファンド・ベース）の値を表示しています。

■ 資産配分(%)

株式	97.16
先物取引	2.71
現金その他	0.13
組入総銘柄数	1,274

※株式には、投資信託証券などが含まれます。

■ 組入株式上位5カ国

	国名	%
1	アメリカ	70.06
2	イギリス	4.51
3	フランス	3.83
4	カナダ	3.44
5	スイス	3.06

■ 組入株式上位5業種

	業種	%
1	情報技術	22.15
2	ヘルスケア	13.46
3	金融	12.95
4	一般消費財・サービス	9.89
5	資本財・サービス	9.48

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。

エマージング株式型（ＰＤ）

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2023年4月末現在)

HSBCチャイナファンドVA（適格機関投資家専用）

HSBCアセットマネジメント株式会社

■ 投資信託の特徴

主に香港及び中国本土（上海、深セン）の証券取引所に上場されている中国関連企業（中国本土企業、中国の中央、省または地方政府が株式の一定割合を保有している企業、及び中国国内での収益割合が高い企業）の株式を投資対象とし、中国の経済発展に伴い利益成長が見込まれる業種・銘柄に積極的に投資することにより、資産の中長期的増大を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。

■ 純資産総額

7.0 億円

■ 設定日

2002年5月8日

■ 基準価額　騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△ 4.57	△ 12.18	11.47	△ 3.15	2.79	453.34

■ ベンチマーク

なし

■ 基準価額の推移

＊基準価額は信託報酬控除後のものです。

■ 業種別組入比率

業種名称	%
ソフトウェア・サービス	26.1
小売	9.8
資本財	9.7
食品・飲料・タバコ	8.1
テクノロジー・ハードウェアおよび機器	7.1
銀行	5.3
エネルギー	4.3
保険	4.2
消費者サービス	4.0
医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	3.6
耐久消費財・アパレル	2.8
その他	13.2
キャッシュ等	1.8
合計	100.0

＊マザーファンドの組入比率(対純資産)です。

■ 市場別組入比率

市場	%
H株	18.0
レッドチップ	7.3
香港	37.6
その他市場	35.3
キャッシュ等	1.8

＊マザーファンドの組入比率(対純資産)です。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。

日本債券型（ＰＤ）

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　（2023年4月末現在）

MHAM物価連動国債ファンドVA［適格機関投資家専用］

アセットマネジメントOne株式会社

■ 投資信託の特徴

わが国の物価連動国債に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中・長期的な成長を目指します。

■ 純資産総額

0.4 億円

■ 設定日

2005年9月5日

■ 基準価額　騰落率　表示桁数未満四捨五入

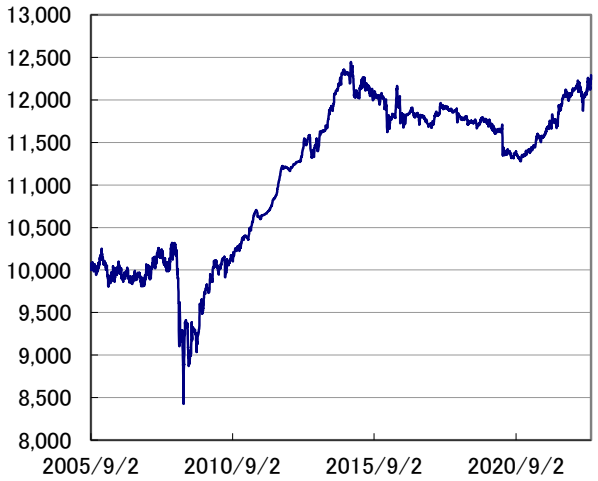
%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	0.83	2.05	0.89	2.21	8.12	22.93

※累積収益は、ファンドの決算時に収益分配があった場合に
　その分配金（税引前）を再投資したものとして算出。
※累積収益率は実際の投資家利回りとは異なります。

■ ベンチマーク

なし

■ 基準価額の推移



■ 組入上位5銘柄の組入比率

	銘柄名	利率	償還日	%
1	26回 物価連動国債(10年)	0.005%	2031/3/10	25.26
2	23回 物価連動国債(10年)	0.100%	2028/3/10	16.01
3	24回 物価連動国債(10年)	0.100%	2029/3/10	15.73
4	22回 物価連動国債(10年)	0.100%	2027/3/10	10.85
5	21回 物価連動国債(10年)	0.100%	2026/3/10	10.27

■ ファンド情報

国内債現物組入銘柄数	9銘柄
公社債の平均残存期間	5.38年

■ 資産構成比率(%)

国内債現物	98.07
国内債先物	0.00
その他資産	1.93

※基準価額は、ファンドの決算時に収益分配があった場合にその分配金（税引前）を再投資したものとして算出したファンドの収益率を基に作成。ファンドの当初元本（1万口につき1万円）を10,000として基準価額および分配金（税引前）から指数化しています。
※組入上位5銘柄の組入比率、公社債の残存期間別組入比率は、純資産総額に対する比率を表示しています。
※「資産構成比率」の「その他資産」は、100%から国内債現物・国内債先物の組入比率の合計を差し引いたものです。
※「資産構成比率」の組入比率は、純資産総額に対する比率を表示しています。
　月末の設定・解約の影響により、一時的に100%を超える場合があります。

■ 公社債の残存期間別組入比率

残存年数	%
1年未満	0.00
1年以上3年未満	22.23
3年以上7年未満	43.88
7年以上10年未満	31.96
10年以上	0.00

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。

世界債券型（ＰＤ）

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　（2023年4月末現在）

グローバル・ソブリン・オープン　VA（適格機関投資家専用）

三菱UFJ国際投信株式会社　※三菱UFJ国際投信株式会社は、2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更します。

■ 投資信託の特徴

高水準かつ安定的なインカムゲインの確保とともに信託財産の成長をはかることを目的として運用を行います。
1. 世界主要先進国の、信用力の高いソブリン債券を主要投資対象とし、国際分散投資を行います。
2. 安定的な利子収入の確保と、金利・為替見通しに基づく運用戦略により、収益の獲得を目指します。

■ 純資産総額

7 億円

■ 設定日

2002年11月29日

■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

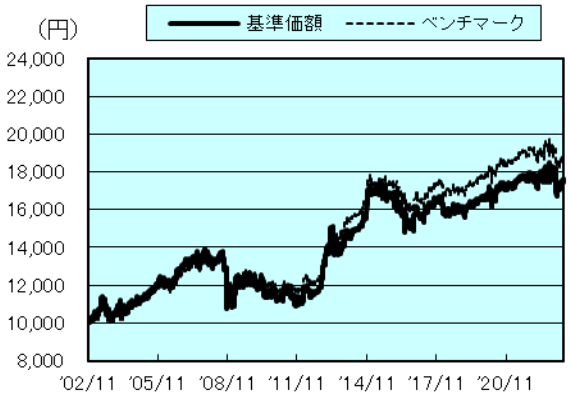
%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額*	0.62	3.30	△ 3.51	△ 0.92	6.09	76.36
BM	0.96	3.14	△ 2.67	△ 0.39	5.99	89.62
差異	△ 0.34	0.16	△ 0.84	△ 0.53	0.10	△ 13.26

＊課税前分配金再投資換算基準価額

■ ベンチマーク

FTSE世界国債インデックス（含む日本/円ベース）

■ 基準価額の推移



※基準価額（課税前分配金再投資換算基準価額）、ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。
出所）Bloomberg、三菱UFJ国際投信

※騰落率は、年率換算していません。騰落率は月次の収益率より算出しています。
※基準価額は信託報酬控除後のものです。
※「課税前分配金再投資換算基準価額」は、この投資信託の公表している基準価額に、各収益分配金（課税前）をその分配を行う日に全額再投資したと仮定して算出したものであり、委託会社が公表している基準価額とは異なります。
※ベンチマークは基準価額との関連を考慮して、前営業日の値を用いています。
※FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数のデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

■ 債券組入上位10銘柄

	銘柄	%	通貨	残存年数
1	アメリカ国債	3.63	USﾄﾞﾙ	1.3
2	アメリカ国債	3.55	USﾄﾞﾙ	20.8
3	アメリカ国債	3.47	USﾄﾞﾙ	21.3
4	アメリカ国債	3.45	USﾄﾞﾙ	9.6
5	アメリカ国債	3.21	USﾄﾞﾙ	1.2
6	スペイン国債	2.56	ﾕｰﾛ	10.0
7	日本国債	2.46	円	29.1
8	アメリカ国債	2.25	USﾄﾞﾙ	6.5
9	欧州投資銀行	2.24	ﾒｷｼｺﾍﾟｿ	1.1
10	アメリカ国債	2.09	USﾄﾞﾙ	5.3

※ウェイトはマザーファンドの対純資産総額比率です。

■ 純資産構成比率(%)

債券合計	96.70
現金+現先+その他	3.30
合計	100.00

■ 組入通貨配分比率（為替ヘッジ考慮後）

通貨	%
USドル	41.43
ユーロ	29.52
円	8.50
メキシコペソ	5.08
その他	15.48

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。

海外高利回り債券型(ＰＤ)

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　（2023年4月末現在）

高利回り社債オープンVA(適格機関投資家専用)

野村アセットマネジメント株式会社

■ 投資信託の特徴

米国ドル建ての高利回り事業債(ハイ・イールド・ボンド)を実質的な主要投資対象とし、中長期的に、高水準のインカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。

■ 純資産総額

0.5 億円

■ 設定日

2005年8月26日

■ 基準価額　騰落率　表示桁数未満四捨五入

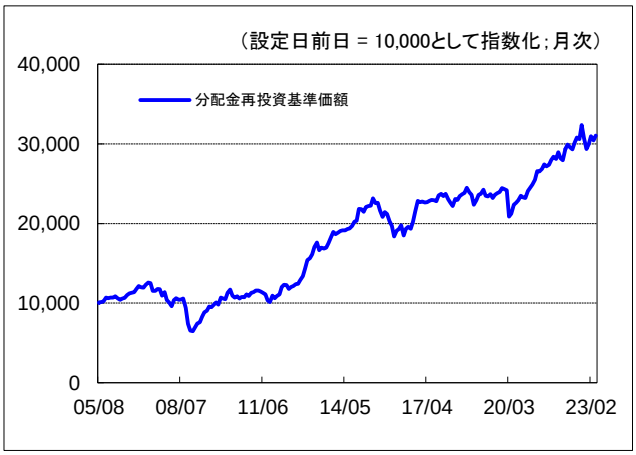
%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	2.04	3.62	△4.01	3.78	46.25	210.48

※騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

■ ベンチマーク

なし

■ 基準価額の推移



※上記の指数化した分配金再投資基準価額の推移および左記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものとして計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

■ 組入上位5銘柄

組入銘柄数　705

	銘柄名	クーポン	業種	格付	%
1	CARNIVAL CORP	5.750%	レジャー	B	1.5
2	CCO HLDGS LLC/CAP CORP	4.500%	放送	B	0.8
3	SPRINT CAPITAL CORP	8.750%	通信	BB	0.7
4	ENACT HOLDINGS INC	6.500%	金融	BBB	0.5
5	LITHIA MOTORS INC	3.875%	小売り	BB	0.5

■ ポートフォリオ特性値

平均格付	B
平均クーポン	5.7%
平均直利	6.7%
平均最終利回り	8.6%
平均デュレーション	4.1年

※各項目の割合(%)は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

※上記のポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等（現金を含む）の各特性値（クーポン、直利、最終利回り、デュレーション）を、その組入比率で加重平均したもの。現地通貨建。また格付の場合は、現金等を除く債券部分について、ランク毎に数値化したものを加重平均しています。

※平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。

※デュレーション：金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標。

※格付はＳ＆Ｐ社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の低い方の格付によります。格付がない場合は投資顧問会社が同等の信用度を有すると判断した格付によります。

■ 格付別配分

格付	%
ＢＢＢ以上	2.2
ＢＢ	33.4
Ｂ	43.3
ＣＣＣ	14.4
ＣＣ	0.8
Ｃ以下 及び　無格付	2.3
その他の資産	3.6

■ 業種別配分

業種	%
石油・ガス	15.4
建設	7.6
レジャー	7.6
金融	7.2
放送	7.0
その他の業種	51.6
その他の資産	3.6
合計	100.0

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。

マネープール型（ＰＤ）

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　（2023年4月末現在）

フィデリティ・マネー・プールVA（適格機関投資家専用）
フィデリティ投信株式会社

■ 投資信託の特徴

本邦通貨表示の公社債等を主要な投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないます。

■ 純資産総額

72 億円

■ 設定日

2002年9月20日

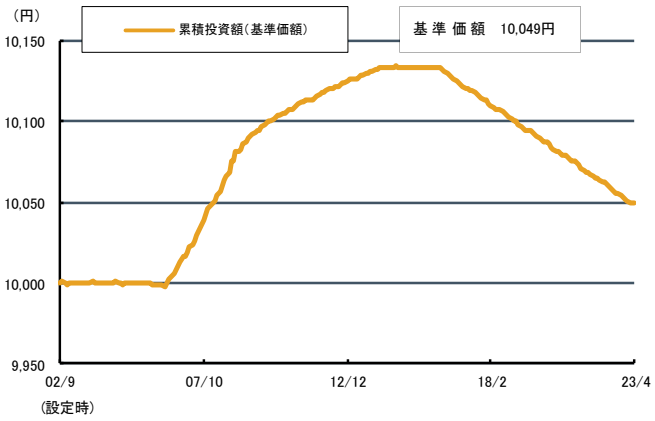
■ 基準価額騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△ 0.01	△ 0.02	△ 0.05	△ 0.12	△ 0.35	0.49

■ ベンチマーク

なし

■ 基準価額の推移



※基準価額の騰落率は、収益分配金を再投資することにより算出された騰落率です。
※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。
　ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。
※当ファンドは、ベンチマークを設定しておりません。※基準価額は運用管理費用控除後のものです。
※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

（2023年03月31日現在）

■ 組入上位10銘柄*

	銘柄	種類	格付	%
1	-	-	-	-
2	-	-	-	-
3	-	-	-	-
4	-	-	-	-
5	-	-	-	-
6	-	-	-	-
7	-	-	-	-
8	-	-	-	-
9	-	-	-	-
10	-	-	-	-

（組入銘柄数　：　0）　　上位10銘柄合計 0.0%

＊マザーファンドベース、対純資産総額比率
※格付は、S&P社もしくはムーディーズ社による格付を採用し、S&P社の格付を優先して採用しています。（「プラス／マイナス」の符号は省略しています。）なお、両社による格付のない場合は、「格付なし」に分類しています。各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。

■ ポートフォリオの状況*

資産別組入状況（%）

債券	-
CP	-
CD	-
現金・その他	100.0

組入資産格付内訳（%）

長期債券格付	AAA/Aaa	-
	AA/Aa	-
	A	-
短期債券格付	A-1/P-1	-
	A-2/P-2	-
現金・その他		100.0

平均残存日数	-
平均残存年数	-

当資料は、情報提供を目的としたものであり、ファンドの推奨（有価証券の勧誘）を目的としたものではありません。本資料に記載の内容は将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、厳密な意味での正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。上記情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。

当保険商品のリスク・諸費用・ご留意いただきたい事項

投資リスクについて

当保険商品の据置（運用）期間中の運用は特別勘定で行われます。特別勘定資産の運用実績に基づいて年金額、死亡給付金額および解約払戻金額等が変動（増減）します。特別勘定資産の運用は、株式および公社債等の価格変動と為替変動等にともなう投資リスクがあり、運用実績によってはお受け取りになる年金額や解約払戻金額の合計額が一時払保険料を下回ることがあります。これらのリスクはすべてご契約者に帰属します。

元本欠損が生じる場合があります

解約の時期、被保険者の契約年齢等の諸条件により、ご契約者等がお受け取りになる金額の合計額が、払込保険料の合計額を下回る場合があります。保険会社の業務又は財産の状況の変化により、年金額、給付金額、解約払戻金額等が削減されることがあります。

諸費用について

契約初期費	一時払保険料（増額・規則的増額保険料を含む）に対して 5.0%を特別勘定繰入前に控除します。	
保険関係費	特別勘定の資産総額に対して （年率0.75%＋運用実績に応じた費用＊）/365日を毎日控除します。 ＊運用実績に応じた費用：運用実績を毎日判定し、運用実績が年率1.5%を超過した場合のみ、超過分1%あたり0.1%（上限1.25%）を控除します。	
契約管理費	基本保険金額が100万円未満のご契約に対し、毎月500円を積立金から控除します。	
移転費	積立金の移転が年間13回以上のとき、移転一回につき1,000円を、 保険会社が移転を受け付けた日末に積立金から控除します。	
年金管理費＊1	年金支払開始日以後、支払年金額の1%を年金支払日に控除します。	
資産運用関係費＊2	日本成長株式型（PD）	年率0.9680%程度
	日本店頭・小型株式型（PD）	年率0.7700%程度
	日本株式INDEX型（PD）	年率0.4400%程度
	海外株式INDEX型（PD）	年率0.4400%程度
	エマージング株式型（PD）	年率1.0780%程度
	日本債券型（PD）	年率0.2640%～0.3850%程度
	世界債券型（PD）	年率0.9350%程度
	海外高利回り債券型（PD）	年率1.1550%程度
	マネープール型（PD）	年率0.00935%～0.55000%程度

*1　年金支払特約、年金支払移行特約によりお受け取りいただく場合は、記載の費用は上限です。年金管理費は、将来変更される可能性があります。
*2　資産運用関係費は将来変更されることがあります。

その他お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金がかかりますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することとなります。

その他ご留意いただきたい事項

当保険商品は、生命保険商品であり投資信託ではありません。また、ご契約者が投資信託を直接に保有されている訳ではありません。特別勘定資産の運用実績は、特別勘定が主な投資対象とする投資信託の運用実績とは異なり、一致するものではありません。これは、特別勘定は投資信託のほかに、保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや、積立金の計算にあたり投資信託の値動きには反映されていない保険にかかる費用等を特別勘定資産から控除していることなどによるものです。当保険商品の詳細につきましては、「契約締結前交付書面（契約概要/注意喚起情報）」（「特に重要なお知らせ（注意喚起情報）」）「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」などをご覧ください。ご契約の時期によっては、書面の種類や名称などが異なる場合があります。